

佐賀空港滑走路延長計画に関する P I 実施報告書（案）

令和 6 年〇月

九州佐賀国際空港 PI 推進協議会

はじめに

佐賀空港（愛称：九州佐賀国際空港）は、平成10年（1998年）7月に開港し、昨年、開港25周年を迎えました。平成30年度（2018年度）には旅客数が過去最高の82万人に達しており、今後も利用拡大が期待されています。

佐賀空港は、アジアに近く、九州各地へのアクセスに優れており、佐賀空港がめざす将来像2024（素案）ではその将来像を「九州佐賀国際空港をゲートウェイ※として、九州がアジアの活力を取り込み、日本で最も活力のある地域になっている。」ことと定めています。

これまで、佐賀空港に就航している国際線航空会社からは、2,000m滑走路のため、経験豊富なパイロットで運航するなどの特別な対応が必要であることから、早期に滑走路を2,500mに延長することが望まれてきました。

滑走路を2,500mに延長することで既存の航空会社による路線展開の自由度が増し、国際線の増便や東南アジア諸国等との直行便を結ぶことも可能となります。これにより、更に国際交流が活発になることを期待でき、観光立国推進にも寄与することから佐賀県は滑走路延長の計画を進めています。

滑走路延長計画を進めるにあたって佐賀県と佐賀市は、協力・連携して「佐賀空港の滑走路延長」に向けた施設計画段階のパブリック・インボルブメント（P I）を実施することとしました。P Iは、施設計画段階における情報を広く公開し、みなさんのご意見を広く募集するものであり、滑走路延長計画の透明性や客観性の確保するために実施するものです。そのため、有識者による第三者委員会を設置し、客観的な立場からの評価・助言に基づいて進めました。

本書は、「九州佐賀国際空港P I推進協議会」によるP I活動の実施状況、実施結果及び目標達成の評価・判断について実施報告書として取りまとめたものです。今後、このP I活動の結果を踏まえて、滑走路延長計画を進めてまいります。P Iにご参加いただいたみなさん、P Iにご協力いただいたみなさんに感謝申し上げます。

令和6年〇月 九州佐賀国際空港P I推進協議会

※ ゲートウェイとは、海外からの玄関口のことです。

目次

1. P I 活動の実施状況	3
1.1. 情報提供.....	3
1.2. 意見募集.....	11
1.3. P I 評価委員会	15
2. P I 活動の実施結果	17
2.1. P I 活動の結果	17
2.2. 意見募集の情報を得た手段	21
2.3. 滑走路延長に関する理解度	22
2.4. 寄せられた自由意見.....	27
3. P I の目標達成の判断	34
3.1. 判断方法.....	34
3.2. 判断内容.....	34
3.3. 判断結果.....	35
4. P I の終了について	35

1. P I 活動の実施状況

佐賀空港の滑走路延長の必要性や施設計画の妥当性について、みなさんからのご意見を把握するため、パブリック・インボルブメント（P I）を実施しました。

P I 活動は令和5年11月1日から12月15日の1か月半にわたり、「佐賀空港の滑走路を延長することの必要性や施設計画の妥当性」について取りまとめた情報（P I レポート）を公表し、佐賀空港周辺自治体での説明会や周知・広報活動による情報提供、意見募集を実施しました。

1.1. 情報提供

1.1.1. 周知・広報活動の状況

P I 活動の実施を広く周知・広報するため、P I 活動期間の令和5年11月1日から12月15日にかけて、佐賀県及び福岡県南西部等にお住まいの方をはじめ、みなさんに対して周知・広報活動を行いました。

具体的な周知・広報活動内容は以下のとおりです。

表 1-1 周知・広報活動実績（その1）

手法・媒体	実施場所		実施日	配布数
ホームページ	佐賀県ホームページ		11/1～12/15	－
	佐賀市ホームページ		11/1～12/15	－
	柳川市ホームページ		11/1～12/15	－
広報紙	佐賀県	佐賀県「さががすき。」	11月号	－
		佐賀市「市報さが」	11月15日号	－
		唐津市「市報からつ」	11月号	－
		鳥栖市「市報とす」	12月号	－
		多久市「市報たく」	11月号	－
		鹿島市「広報かしま」	11月号	－
		小城市「広報さくら」	12月号	－
		嬉野市「市報うれしの」	11月号	－
		神埼市「市報かんざき」	11月号	－
		吉野ヶ里町「広報よしのがり」	12月号	－
		基山町「広報きやま」	11月号	－
		上峰町「町民だより かみみね」	11月号	－
		みやき町「広報みやき」	11月号	－
		玄海町「広報玄海」	11月号	－
		有田町「広報有田」	11月号	－
		大町町「広報おおまち」	11月号	－
江北町「広報こうほく」	11月号	－		
太良町「広報たら」	11月号	－		

表 1-2 周知・広報活動実績（その2）

手法・媒体	実施場所		配布開始日 又は実施日	配布数	
広報紙	福岡県	柳川市「広報やながわ」	11月号	－	
		大川市「市報おおかわ」	11月号	－	
		大牟田市「広報おおむた」	11月1日号	－	
		みやま市「広報みやま」	11月号	－	
		大木町「広報おおき」	11月号	－	
ポスター	佐賀県有施設（図書館、博物館、県税事務所、保健福祉事務所、土木事務所等：計31箇所）		11/1～12/15	31枚	
	佐賀市有施設（公民館、博物館、福社会館、文化会館、温泉施設、道の駅等：50箇所）			50枚	
	佐賀県内自治体庁舎 （佐賀市、白石町等：20箇所）			200枚	
	福岡県南西部及び熊本県北部自治体庁舎 （柳川市、荒尾市等：15箇所）			75枚	
	佐賀県内図書館（佐賀市、白石町等：35箇所）			35枚	
	大学・専門学校（佐賀大学等：6箇所）			6枚	
	空港関係者（佐賀空港、航空会社、レンタカー協会、タクシー会社等：51箇所）			62枚	
	商業施設（イオン、モラージュ佐賀等：4箇所）			4枚	
	イベント（バルーンフェスタ等：2箇所）			11枚	
	その他			55枚	
合計			529枚		
ステッカー	アクセスバス（佐賀空港～佐賀駅バスセンター）		11/16～ 12/15	100枚	
	リムジンタクシー（24社）		11/16～ 12/15	187枚	
	合計			287枚	
マスメディア	テレビ（サガテレビ、ケーブルワン）		11/1、12/4	－	
	新聞	佐賀新聞	11/16、 11/19、 11/30	－	
		有明新報	11/17、 11/20		
	YouTube 広告		11/28～ 12/15	－	
	SNS	佐賀空港公式 ：X（旧 Twitter）、Facebook		11/1、11/16 11/30、12/8	－
		佐賀空港：アプリ		11/18	－
		佐賀県広報広聴課公式 ：X（旧 Twitter）、Facebook		11/1、11/16 11/30、12/8	
		佐賀市公式：X（旧 Twitter）		11/1、11/30	－
佐賀ターミナルビル公式		11/1、11/16	－		

		: X (旧 Twitter)	11/30、12/8	
	デジタル サイネージ	佐賀空港ターミナルビル	11/15～ 12/15	—
		佐賀市役所	11/14～ 12/15	—
		佐賀駅	11/17～ 11/30	—

<ホームページ>

【佐賀県】



【佐賀市】



<広報誌>

【佐賀県：さががすき。】【佐賀市：市報さが】

九州佐賀国際空港の滑走路延長計画に関する意見募集及び説明会

空港の滑走路延長計画についてのご意見を募集します。また、計画についての説明会を開催します。

意見募集期間 11月1日(水)～12月15日(金)

とき	ところ
11月18日(土) 14:00～	南川副公民館(佐賀市川園東)
12月2日(土) 14:00～	アパnese(佐賀市天神)
12月2日(土) 17:00～	瑞高伊うあい館(白石町瑞高)

※延長計画や意見募集など詳しくはホームページをご覧ください

お問い合わせ 空港課 ☎0952(25)7104

お問い合わせ

九州佐賀国際空港P1推進協議会
事務局(佐賀県佐賀市内)

☎257104 09527318

✉kunkun@pref.saga.lg.jp

九州佐賀国際空港 滑走路延長に関する意見募集・説明会

九州佐賀国際空港では、滑走路を200mから2500mに延長する検討を進めています。滑走路延長の必要性や計画の妥当性などを記載したレポートを作成いただき、ご意見を寄せください。また、説明会を開催します。

意見募集期間
11月1日(水)～12月15日(金)

意見提出方法 レポートを佐賀空港ホームページに掲載します。また、佐賀市役所や佐賀県庁などに冊子を設置します。ホームページ上の「意見記入フォーム」または冊子に添付の「はがき」で提出ください。

説明会場・日程
・南川副公民館 集会室
11月18日(土) 14時～
11月18日(土) 17時～
・アパnese 第3号店瑞高
12月2日(土) 14時～
12月2日(土) 17時～

※延長計画や意見募集など詳しくはホームページをご覧ください

<ポスター>

【佐賀県庁】



【佐賀市役所】



【佐賀空港】



図 1-1 周知・広報活動の実施状況 (その 1)

<ステッカー>

【バス（座席後方）】



【バス（運転席後方）】



<マスメディア>

【新聞（有明新報）】

佐賀空港滑走路延長計画
ご意見を募集しています
意見募集期間 令和5年12月15日まで

滑走路延長計画について
●計画についてはこちら
●ご意見はこちらから

柳川市での説明会について
●日時 11月18日(土)10時～
●場所 柳川総合保健福祉センター「水の郷」2階 視聴覚室
※事前申し込みは不要です。

九州佐賀国際空港PI推進協議会

【新聞（佐賀新聞）】

九州佐賀国際空港の滑走路延長についての説明会

日時 12月2日(日)14:00～
場所 アバンセ 4階 第3研修室 (佐賀市天神)

日時 12月2日(日)17:00～
場所 福富ゆうあい館 研修室 (白石町福富)

問い合わせ先
佐賀県 空港課
佐賀県 TEL 0952-25-7104

【YouTube 広告】

佐賀空港

滑走路延長計画

「滑走路の延長」意見を募集してるよ!

佐賀空港滑走路延長計画 パブリック・インボルブメント

九州佐賀国際空港PI推進協議会

九州佐賀国際空港滑走路延長計画

佐賀県 空港課 チャンネル登録

図 1-2 周知・広報活動の実施状況（その2）

【SNS（左から佐賀空港公式 X、佐賀空港公式 Facebook）】



【デジタルサイネージ（左から佐賀空港、佐賀駅、佐賀市役所）】



図 1-3 周知・広報活動の実施状況（その3）

1.1.2. 情報提供の状況

P I活動での情報提供はP I活動期間の令和5年11月1日から12月15日にかけて、P Iレポート（概要版、詳細版）の公表のほか、パネル展、説明会を開催しました。

具体的な情報提供の内容は以下のとおりです。

表 1-3 情報提供の実施内容

手法・媒体	実施場所	掲載開始日 または掲載期間	配布数・ 参加者数
P Iレポート （概要版）の 配布※	佐賀県有施設（図書館、博物館、県税事務所、保健福祉事務所、土木事務所等：計33箇所）	11/1～12/15	670部
	佐賀市有施設（公民館、博物館、福祉会館、文化会館、温泉施設、道の駅等：50箇所）		510部
	佐賀県内自治体庁舎 （佐賀市、白石町等：20箇所）		1,313部
	福岡県南西部及び熊本県北部自治体庁舎 （柳川市、荒尾市等：19箇所）		520部
	佐賀県内図書館（佐賀市、白石町等：35箇所）		530部
	大学・専門学校（佐賀大学 西九州大学等：9箇所）		73部
	空港関係者（ビル会社、航空会社、レンタカー協会、タクシー会社等：52箇所）		670部
	商業施設（イオン、モラージュ佐賀等：8箇所）		130部
	イベント（バルーンフェスタ等：2箇所）		600部
	その他		708部
合計		5,724部	
P Iレポート （詳細版）の 公表	佐賀県ホームページ	11/1～12/15	-
パネル展	佐賀市役所：1階市民ホール	11/15～11/21	-
	佐賀空港ターミナルビル：2階	11/22～12/7	-
	佐賀県庁：新館1階県民ホール	12/11～12/15	-
説明会	柳川市：柳川総合保健福祉センター	11/18	20名
	佐賀市：南川副公民館	11/18	16名
	佐賀市：アバンセ	12/2	29名
	白石町：福富ゆうあい館	12/2	6名

※ P Iレポート（概要版）の英語版を佐賀県ホームページにて公表

< P I レポート >

【詳細版】

【概要版（日本語）】

【概要版（英語）】



< P I レポートの配布 >

【佐賀県庁】



【佐賀市役所】



【佐賀空港】



【バルーンフェスタ】



【佐賀駅バスセンター】



< パネル展 >

【佐賀県庁】



【佐賀市役所】



【佐賀空港】



図 1-4 情報提供の実施状況

1.2. 意見募集

1.2.1. 意見募集の内容

P I活動での意見募集はP I活動期間の令和5年11月1日から12月15日にかけて、インターネット、ハガキ、説明会により実施し、意見を収集しました。


具体的な意見募集の内容は以下のとおりです。

表 1-3 意見募集の実施内容

手法・媒体	実施場所・方法	掲載開始日 または掲載期間	配布数・ 参加者数
インターネット	佐賀県ホームページ (日本語版、英語版の2パターン作成)	11/1~12/15	-
ハガキ	P Iレポート(概要版)に添付	11/1~12/15	5,724部
説明会	柳川市：柳川総合保健福祉センター	11/18	20名
	佐賀市：南川副公民館	11/18	16名
	佐賀市：アバンセ	12/2	29名
	白石町：福富ゆうあい館	12/2	6名

<インターネット>

【日本語】



【英語】

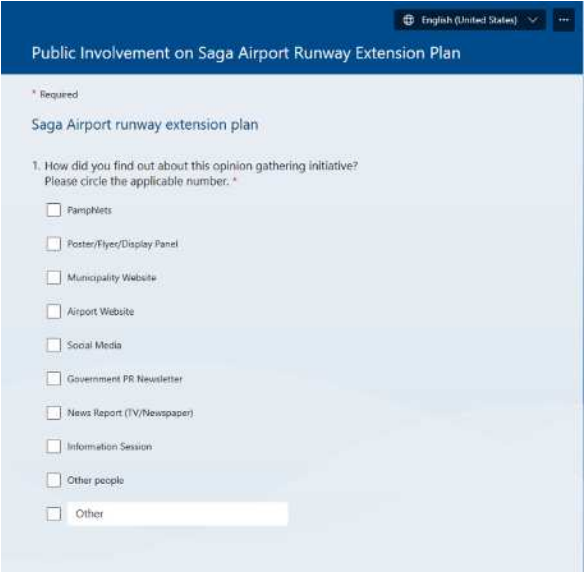


図 1-5 意見募集の実施状況 (その1)

<ハガキ>

〒816-0801 佐賀県佐賀市東区藤原5-1-10
 1048782
 958

〒816-0801 佐賀県佐賀市東区藤原5-1-10
 佐賀市承認
 8798

〒816-0801 佐賀県佐賀市東区藤原5-1-10
 株式会社 日本空港コンサルタンツ計画部
 佐賀空港PIに関する意見募集 事務局 行

インターネットでの回答もできます
 (裏面をご覧ください)

問1 今回の意見募集を行っていることを、何で知りましたが、該当する番号を○で囲んでください。(複数回答可)

①パンフレットの配布 ②ポスター・チラシ・パネル展
 ③自治体のホームページ ④空港ホームページ
 ⑤SNS ⑥行政広報紙 ⑦報道(テレビ・新聞等)
 ⑧駅社会 ⑨周りの人から
 ⑩その他()

問2 佐賀空港の滑走路延長の必要性について理解できましたか
 該当する番号を○で囲んでください。

①理解できた ②ある程度理解できた
 ③あまり理解できなかった ④理解できなかった

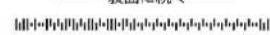
問3 佐賀空港の滑走路延長による効果について理解できましたか
 該当する番号を○で囲んでください。

①理解できた ②ある程度理解できた
 ③あまり理解できなかった ④理解できなかった

問4 佐賀空港の滑走路延長計画(施設計画の妥当性)について理解できましたか
 該当する番号を○で囲んでください。

①理解できた ②ある程度理解できた
 ③あまり理解できなかった ④理解できなかった

—— 裏面に続く ——



問5 佐賀空港の滑走路延長による影響について理解できましたか
 該当する番号を○で囲んでください。

①理解できた ②ある程度理解できた
 ③あまり理解できなかった ④理解できなかった

問6 佐賀空港の滑走路延長計画やこのレポートについて、疑問やご意見があれば自由にご記入ください。
 ※個人が特定できる情報の記入はご遠慮ください。

ご自身についてお答えください。

お住まい	都/道/府/県 市/区/町/村
年代	20代未満 20代 30代 40代 50代 60代 70代以上
職業	会社員 自営業 団体職員 経営者・役員 公務員 パート・アルバイト 主婦・主夫 学生 無職 その他()

こちらからも回答できます → 

<説明会>

【柳川市：柳川総合保健福祉センター】

【佐賀市：南川副公民館】



【佐賀市：アバンセ】

【白石町：福富ゆうあい館】



図 1-6 意見募集の実施状況 (その2)

1.2.2. 説明会

PI活動における情報提供及び意見を表明する手段の一つとして、佐賀空港周辺自治体の住民等を対象として説明会を4回開催し、PIレポートの内容に沿って説明を行いました。

以下に、説明会の概要、質疑応答で寄せられた主な意見を紹介します。

(1) 柳川市：柳川総合保健福祉センター

■ 説明会概要

開催日時：令和5年11月18日（土）10:00～11:30

開催場所：柳川総合保健福祉センター

参加者：20名

■ 寄せられた主な意見

- 事業費120億円の財源はどうするのか。
- 佐賀市、柳川市、大川市には滑走路延長の了承を得ているのか。
- 超長期的な構想で3,000mへの延長や、利用時間24時間化は考えているのか。
- 国際線だけでなく、名古屋、大阪など国内線も開設してほしい。
- 取得用地は県有地なのか、それとも用地買収が必要なのか。
- 有事の際に佐賀空港が拠点になることを想定しているか。
- 2,500mに延長すると、どのような機種が飛んでくることになるのか。
- 滑走路延長により騒音は大きくなるのか。

(2) 佐賀市：南川副公民館

■ 説明会概要

開催日時：令和5年11月18日（土）14:00～15:10

開催場所：南川副公民館

参加者：16名

■ 寄せられた主な意見

- 滑走路延長とともに平行誘導路は整備しないのか。
- 滑走路を2,800m、3,000mに延長することを考えていないのか。
- 事業費120億は佐賀県が払うのか、それとも国なのか。
- 滑走路延長による需要、経済波及効果はどの程度あるのか。
- 滑走路を延長すると、有明海の環境は悪化しないか。
- 取得用地はすでに確保しているのか。
- 説明会は防衛省も同席して、オスプレイの影響についても説明するべきではないか。
- 国内線は名古屋などの復便の可能性はあるのか。
- 新幹線の駅を空港に作ることは想定しているか。

(3) 佐賀市：アバンセ

■ 説明会概要

開催日時：令和5年12月2日（土）14:00～15:50

開催場所：アバンセ

参加者：29名

■ 寄せられた主な意見

- 民間空港としての発展を願うならば、オスプレイ配備を撤廃すべきではないか。
- 2,500mに延長すると、利用者数がどのくらい伸びて、費用対効果はどうなるのか。
- 佐賀空港までの新幹線延伸や柳川方面からの道路を整備してほしい。
- 再延長するのであれば、今回2,500mではなく2,800mや3,000mに延長してほしい。
- 今回の滑走路計画はどのような意見があっても、最終的には事業を実施するのか。
- 川副町は駐屯地の工事車両が多く、その後滑走路延長工事となれば同じように工事車両が多くなり、ずっと我慢しないといけないので、計画を見直してほしい。
- 空港を使いながら工事する計画なのか。
- 国と県の事業費の負担はどうなっているのか。
- 有事の際に佐賀空港を利用するという申し出はあるのか。
- 「佐賀県がめざす将来像」から滑走路延長を抜き出しているのはなぜか。
- 名古屋や大阪などの国内線の復便は考えていないのか。
- 滑走路延長と駐屯地整備を合わせて環境アセスをしないのか。
- 軍用化を進める一環として、滑走路を延長するのではないのか。
- どの海外の航空会社からどのような要望が上がっているのか。
- 貧困化が進んでいるなかで需要は増えるのか。福祉にお金を使うべきではないか。
- 滑走路延長は自衛隊の担当者も含めて説明会を開催してほしい。

(4) 白石町：福富ゆうあい会館

■ 説明会概要

開催日時：令和5年12月2日（土）17:00～17:40

開催場所：福富ゆうあい館

参加者：6名

■ 寄せられた主な意見

- 貨物便が復便する可能性はあるのか。
- 滑走路西側への騒音影響は少なくなるのか。
- 西側にもILSを設置する予定はあるか。
- 2,500mから再度延長しないのか。さらに延長すると、何か影響はあるのか。

1.3. P I 評価委員会

P I では、佐賀県と佐賀市が組織する P I 推進協議会により設置された有識者からなる第三者委員会「九州佐賀国際空港 P I 評価委員会」を開催し、P I 活動に関する評価・助言をいただきました。

以下に、P I 評価委員会の開催状況を示します。

1.3.1. 第 1 回 P I 評価委員会

■ 議事概要

開催日時：令和 5 年 7 月 18 日（火）10:30～12:00

議事：

①報告事項

- 1) 九州佐賀国際空港 P I 評価委員会の設置について
- 2) 委員長の選任について

②審議事項

- 1) 実施計画について

■ 主な発言内容

- P I 対象者という言葉は分かりにくい。「みなさん」という言葉に変えてはどうか。
- 費用対効果や将来のイメージが伝わる情報を提供できると良い。
- 海外の人に対してもわかりやすく情報提供できないか。
- 空港利用者が使う路線バスやタクシーに広報の協力をしてもらうのはどうか。
- サガアリーナにパンフレットを置くのはどうか。
- 交通機関で移動している時に QR コードから意見できるようにしてはどうか。
- いただいた意見に対して、Q & A のような形で回答できるとよい。
- これから海外にどんどん出て行く若者世代にアプローチするため、YouTube や SNS を活用するのはどうか。
- 佐賀空港が 2,500m 滑走路であれば、もっと輸出できるものがあるので、農林水産関係の方たちにも延長の計画を知ってもらいたい。
- 若者向けとして大学にポスターを設置してはどうか。
- 佐賀空港のマスコット「むっぴー」のようなキャラクターを使って子供でも理解できるような作り方をすれば、子供だけでなく親も興味を持つので、興味を持つ方の幅が広がると思う。
- 滑走路延長事業の費用対効果について、どのような基準で実施するのか、しっかり説明する必要がある。

1.3.2. 第2回PI評価委員会

■ 議事概要

開催日時：令和5年10月16日（月）13:20～15:10

議事：

- ① PIレポート（案）について
- ② PI活動内容（案）について

■ 主な発言内容

① PIレポート（案）について

- 両側延長案はデメリットだけが書かれており、検討する価値がないように思うが、これを検討した理由はあるか。
- 両側延長案の案2は環境面、騒音面でメリットはないのか。
- 東側延長案の案1と両側延長案の案2で、騒音影響がどの程度変わるのか検証しているか。
- 滑走路延長により離着陸の頻度が上がることを記載した方が良い。
- 2,000台の無料駐車場はすでに溢れ気味なので、将来的には駐車場を増やす計画はあるのか。
- アクセスの向上については何か考えているのか。
- バンコク・シンガポールだけでなく、行ける都市はたくさん書いても良いのではないのか。

② PI活動内容（案）について

- 説明会の会場に白石町が入っているが、嬉野市や武雄市は入れないのか。

1.3.3. 第3回PI評価委員会

(1) 議事概要

開催日時：令和6年2月14日（水）14:00～〇:〇

議事：

(2) 主な発言内容

2. P I 活動の実施結果

2.1. P I 活動の結果

P I 活動において実施した意見募集の質問項目について、回答内容を整理しました。

2.1.1. 回答数と回答方法

P I 活動期間中にインターネットやハガキ、説明会で寄せられた意見は計 1,321 件となりました。インターネットが819件（62.0%）と全体の半分以上を占め、ハガキが446件（33.8%）、説明会が56件（4.2%）となっています。

表 2-1 回答方法別の回答数、比率

方法	回収場所	回答数	比率
インターネット	佐賀空港P I ホームページ	819 件	62.0%
ハガキ	郵送、バルーンフェスタ等のイベント	446 件	33.8%
説明会	説明会会場（計4回）	56 件	4.2%
合計		1,321 件	100.0%

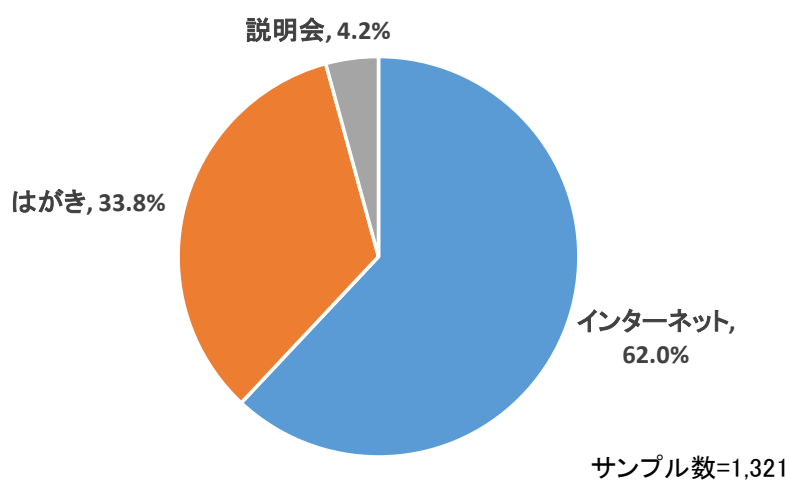


図 2-1 回答方法の比率

2.1.2. 属性

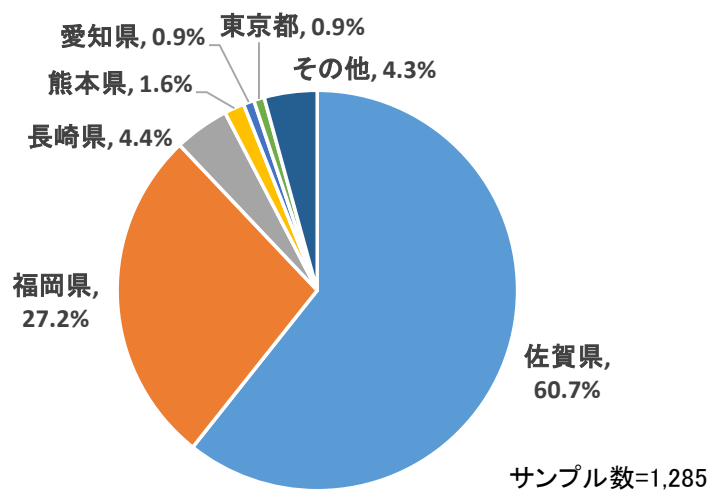
(1) 居住地

回答者の居住地は、佐賀県が 60.7%、福岡県が 27.2%であり、全体の約 9 割を占めています。そのうち、PIの主な対象者である佐賀県及び福岡県南西部※の住民の方は約 7 割を占めています。

佐賀県、福岡県以外の都道府県は、長崎県が 57 件（4.4%）で最も多く、次いで熊本県が 21 件（1.6%）、東京都及び愛知県が 11 件（0.9%）という順になっています。

表 2-2 居住地別回答数、比率

居住地	回答数	比率	
佐賀県	780 件	60.7%	
福岡県	350 件	27.2%	
	南西部	115 件	8.9%
	南西部以外	150 件	11.7%
不明	85 件	6.6%	
その他（長崎、熊本、東京等）	155 件	12.1%	
回答数	1,285 件	100.0%	
回答なし	36 件	—	
合計	1,321 件	—	



※ 福岡県南西部とは、柳川市、大川市、久留米市、八女市、筑後市、大牟田市、みやま市、大川町、広川町を指します。



図 2-2 回答者の居住地の比率

(2) 年齢

回答者の年齢は「30 歳代 (26.4%)」が最も多く、次いで「40 歳代 (22.8%)」、「50 歳代 (16.2%)」の順になっています。

表 2-3 年齢別回答数、比率

年齢	回答数	比率
20 歳未満	58 件	4.5%
20 歳代	114 件	8.8%
30 歳代	344 件	26.4%
40 歳代	297 件	22.8%
50 歳代	211 件	16.2%
60 歳代	165 件	12.7%
70 歳以上	113 件	8.7%
回答数	1,302 件	100.0%
回答なし	19 件	—
合計	1,321 件	—

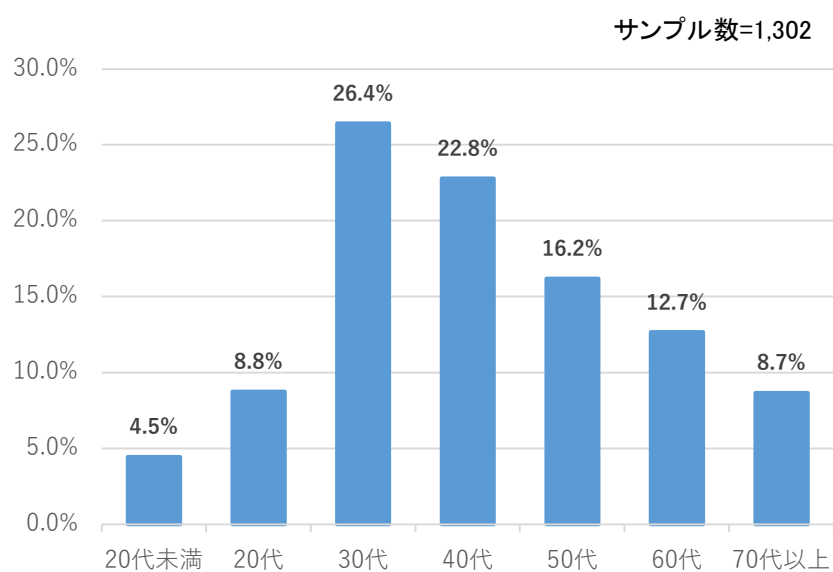


図 2-3 回答者の年齢の比率

(3) 職種

回答者の職種では「会社員（42.7%）」が最も多く、半分弱を占めています。次いで「パート・アルバイト（11.7%）」、「公務員（11.2%）」の順になっています。

表 2-4 職種別回答数、比率

職種	回答数	比率
会社員	543 件	42.7%
自営業	85 件	6.7%
団体職員	32 件	2.5%
経営者・役員	23 件	1.8%
公務員	142 件	11.2%
パート・アルバイト	149 件	11.7%
主婦・主夫	119 件	9.4%
学生	64 件	5.0%
無職	99 件	7.8%
その他	15 件	1.2%
回答数	1,271 件	100.0%
回答なし	50 件	—
合計	1,321 件	—

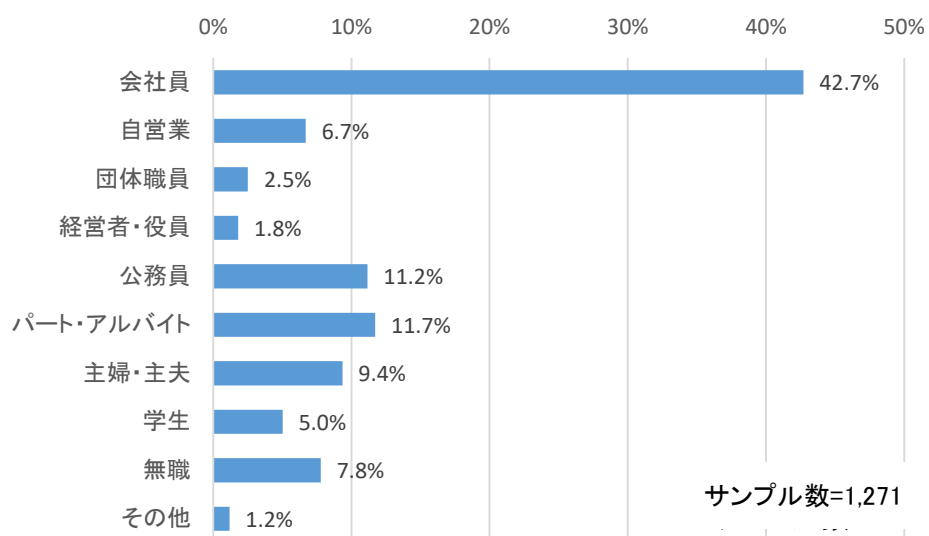


図 2-4 回答者の職種の比率

2.2. 意見募集の情報を得た手段

意見募集の情報を得た手段は「パンフレットの配布（43.2%）」が最も多く、次いで「ポスター・チラシ・パネル展（12.4%）」、「その他（9.9%）」の順になっています。

「その他（9.9%）」は「バルーンフェスタ（7.5%）」が大部分を占めています。

表 2-5 意見募集の情報を得た手段

手段	回答数	比率
パンフレットの配布	649 件	43.2%
ポスター・チラシ・パネル展	186 件	12.4%
自治体ホームページ	60 件	4.0%
空港ホームページ	59 件	3.9%
SNS	39 件	2.6%
行政広報紙	62 件	4.1%
報道（テレビ・新聞等）	122 件	8.1%
説明会	38 件	2.5%
周りの人から	140 件	9.3%
その他	149 件	9.9%
回答数（複数回答あり）	1,504 件	100.0%
回答なし	5 件	—

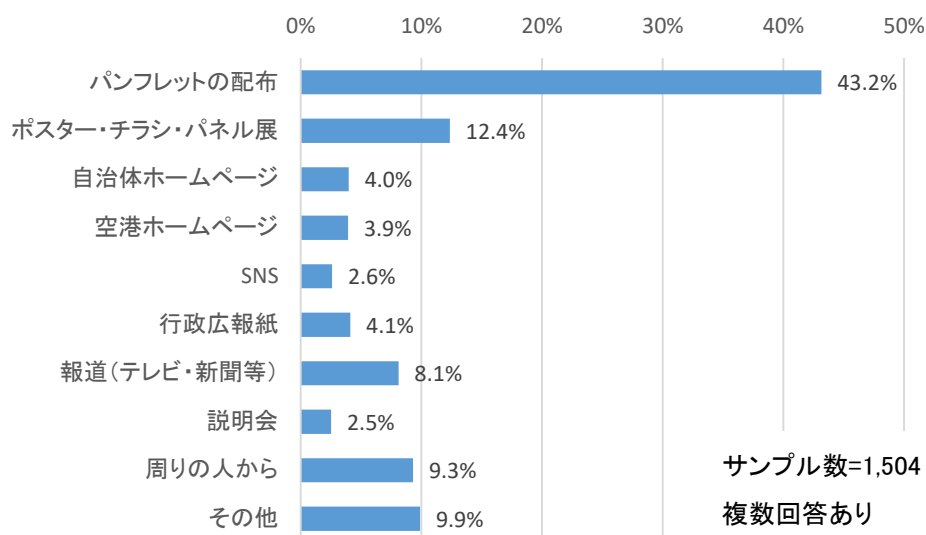


図 2-5 意見募集の情報を得た手段

2.3. 滑走路延長に関する理解度

2.3.1. 滑走路延長の必要性

佐賀空港の滑走路延長の必要性について、「理解できた」、「ある程度理解できた」と回答した方は、92.9%を占めています。

表 2-6 滑走路延長の必要性に関する理解度

	回答数	比率
理解できた	871 件	66.2%
ある程度理解できた	351 件	26.7%
あまり理解できなかった	54 件	4.1%
理解できなかった	39 件	3.0%
回答数	1,315 件	100.0%
回答なし	6 件	—
合計	1,321 件	—

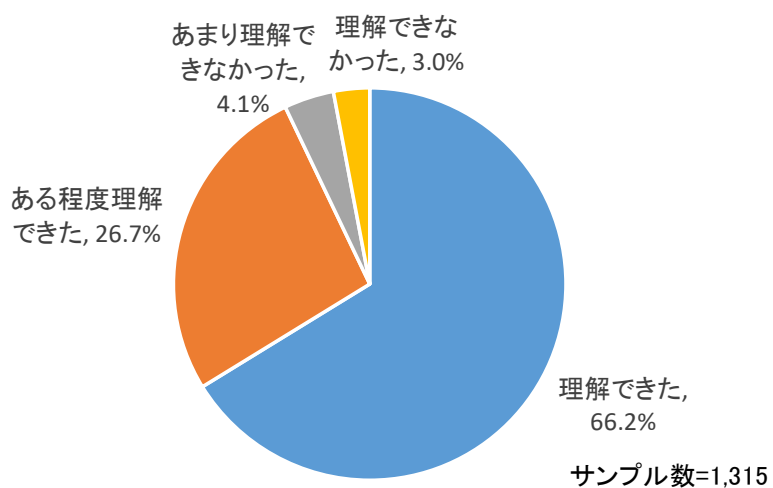


図 2-6 滑走路延長の必要性に関する理解度

2.3.2. 滑走路延長による効果

佐賀空港の滑走路延長による効果について、「理解できた」、「ある程度理解できた」と回答した方は、92.1%を占めています。

表 2-7 滑走路延長による効果の理解度

	回答数	比率
理解できた	839 件	64.0%
ある程度理解できた	368 件	28.1%
あまり理解できなかった	50 件	3.8%
理解できなかった	54 件	4.1%
回答数	1,311 件	100.0%
回答なし	10 件	—
合計	1,321 件	—

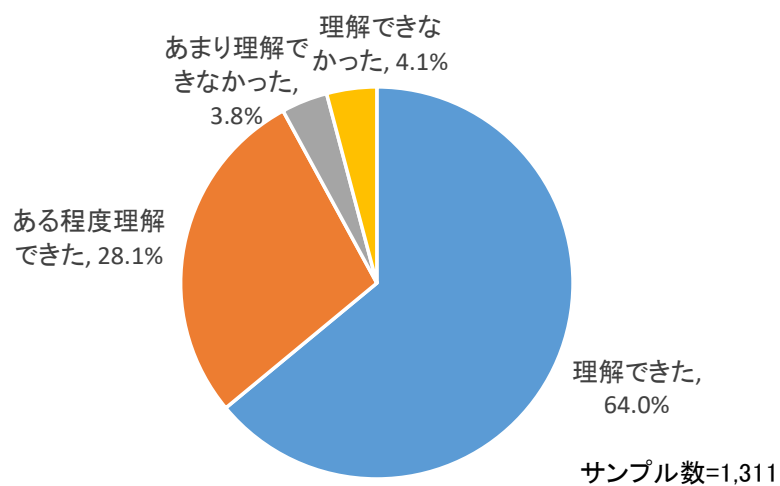


図 2-7 滑走路延長による効果の理解度

2.3.3. 滑走路延長計画（施設計画の妥当性）

佐賀空港の滑走路延長計画（施設計画の妥当性）について、「理解できた」、「ある程度理解できた」と回答した方は、91.2%を占めています。

表 2-8 滑走路延長計画（施設計画の妥当性）の理解度

	回答数	比率
理解できた	823 件	62.8%
ある程度理解できた	372 件	28.4%
あまり理解できなかった	58 件	4.4%
理解できなかった	57 件	4.4%
回答数	1,310 件	100.0%
回答なし	11 件	—
合計	1,321 件	—

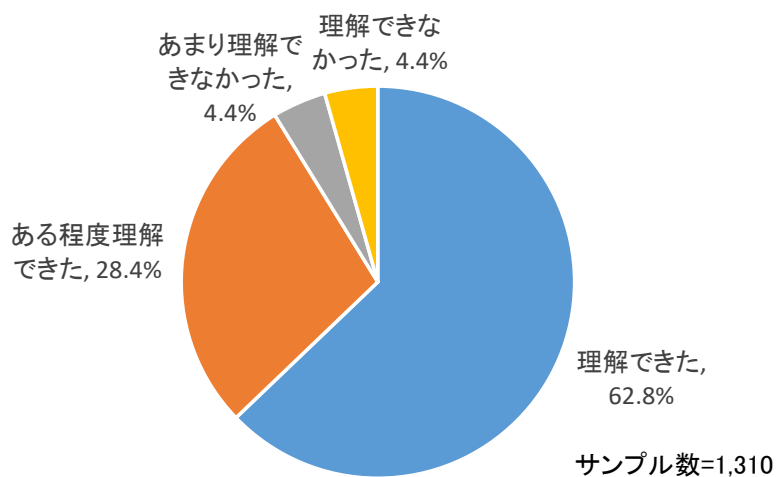


図 2-8 滑走路延長計画（施設計画の妥当性）の理解度

2.3.4. 滑走路延長による影響

佐賀空港の滑走路延長による影響について、「理解できた」、「ある程度理解できた」と回答した方は、90.3%を占めています。

表 2-9 滑走路延長による影響の理解度

	回答数	比率
理解できた	763 件	58.8%
ある程度理解できた	408 件	31.5%
あまり理解できなかった	70 件	5.4%
理解できなかった	56 件	4.3%
回答数	1,297 件	100.0%
回答なし	24 件	—
合計	1,321 件	—

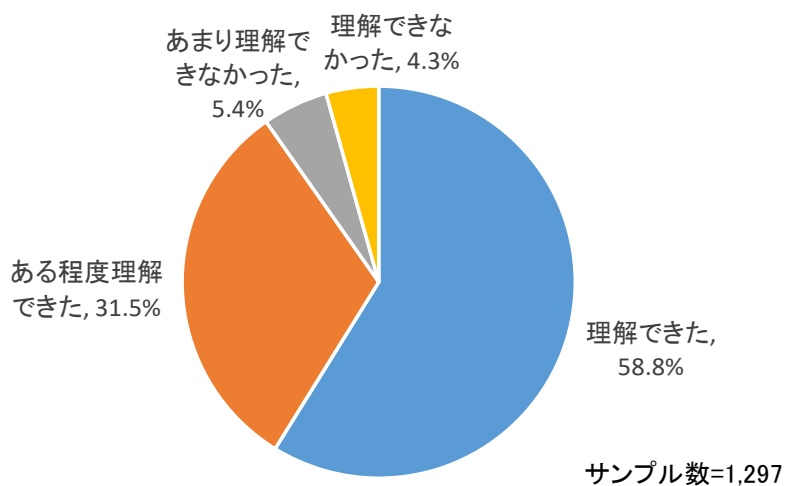


図 2-9 滑走路延長による影響の理解度

2.3.5. 理解度のまとめ

前項に整理した滑走路延長に関する理解度については、全ての設問において「理解できた」、
「ある程度理解できた」と回答した方が9割以上を占めています。

表 2-10 滑走路延長に関する理解度の回答数

	滑走路延長 の必要性	滑走路延長 による効果	施設計画の 妥当性	滑走路延長 による影響
理解できた	871 件	839 件	823 件	763 件
ある程度理解できた	351 件	368 件	372 件	408 件
あまり理解できなかった	54 件	50 件	58 件	70 件
理解できなかった	39 件	54 件	57 件	56 件
回答数	1,315 件	1,311 件	1,310 件	1,297 件
回答なし	6 件	10 件	11 件	24 件
合計	1,321 件	1,321 件	1,321 件	1,321 件

表 2-11 滑走路延長に関する理解度の割合

	滑走路延長 の必要性	滑走路延長 による効果	施設計画の 妥当性	滑走路延長 による影響
理解できた	66.2%	64.0%	62.8%	58.8%
ある程度理解できた	26.7%	28.1%	28.4%	31.5%
あまり理解できなかった	4.1%	3.8%	4.4%	5.4%
理解できなかった	3.0%	4.1%	4.4%	4.3%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

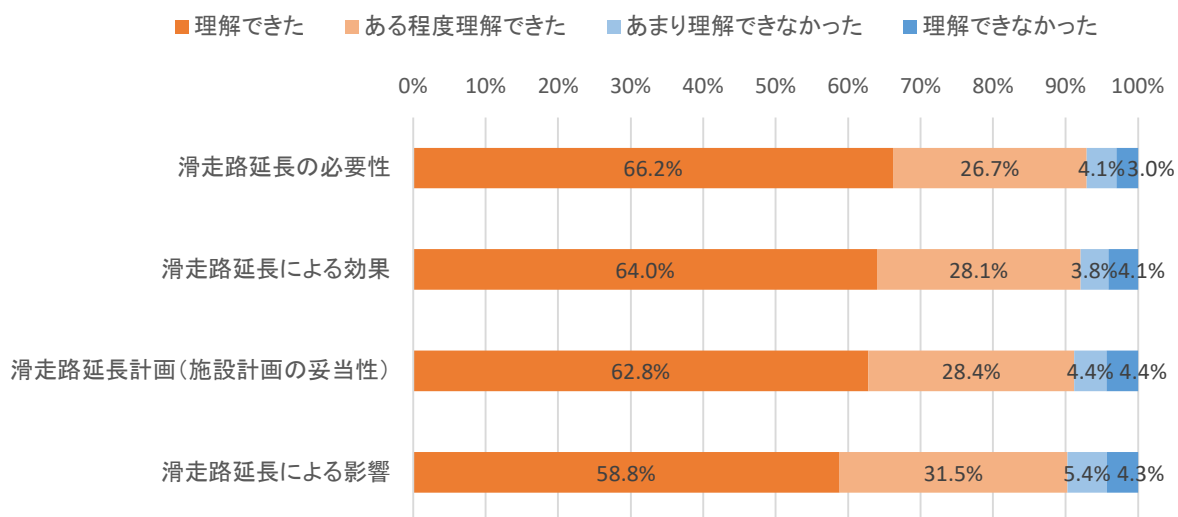


図 2-10 滑走路延長に関する理解度の比率

2.4. 寄せられた自由意見

2.4.1. 自由意見の分類方法

回答数 1,321 件のうち、自由意見が 436 件寄せられました。自由意見の中には、複数の内容を含むものがあったため、はじめに複数の内容を含む意見を内容別に分割しました。その上で、それぞれの意見を P I レポートで情報提供した内容を基に作成した項目にその他を加えて 7 つに分類整理しました。

< P I レポートの内容を基にした大分類（7 分類） >

1. P I 活動
2. 佐賀空港の概要
3. 滑走路延長の必要性
4. 滑走路延長による効果
5. 滑走路延長計画（施設計画の妥当性）
6. 滑走路延長の影響
7. その他

さらに、上記の 7 つの分類に整理した意見について、それぞれ主な意見を抽出して中区分を作成し、分類整理しました。分類方法については、次頁に示します。

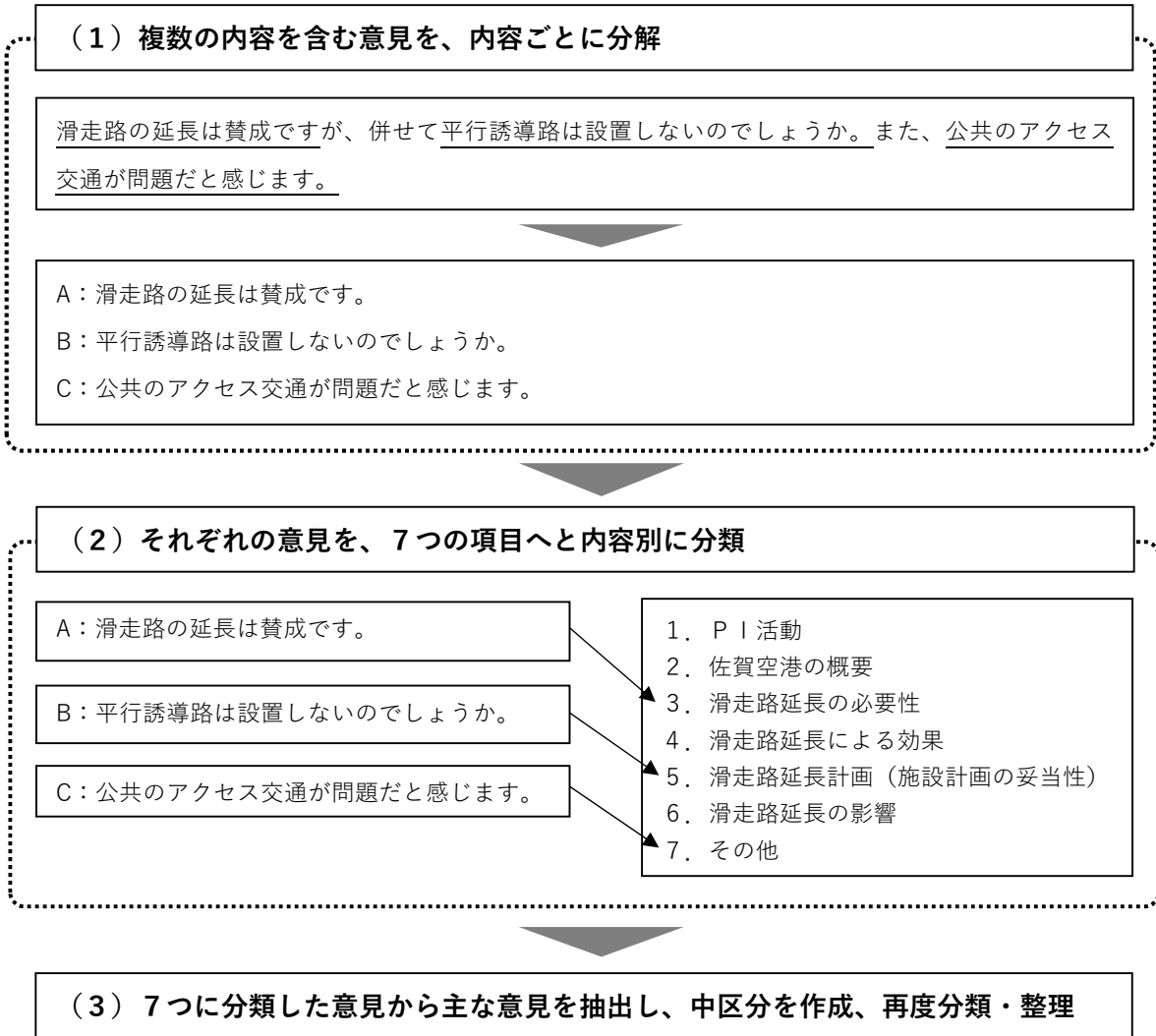


図 2-11 自由意見の分類方法

2.4.2. 寄せられた自由意見の分類結果

436 件の自由意見を個々の内容ごとに分割したところ、延べ 575 件の意見になりました。

これら意見を、P I レポートの内容をもとに整理した 7 つのグループに分類し、さらに内容別に分類した結果、合計で 23 の意見に分類しました。

表 2-12 自由意見の分類結果

意見の分類方法		件数
1.	P I 活動に関する意見	28
(1)	P I レポートに関する意見	23
(2)	説明会に関する意見	5
2.	佐賀空港の概要に関する意見	27
(1)	佐賀空港の現状に関する意見	17
(2)	駐車場に関する意見	10
3.	滑走路延長の必要性に関する意見	228
(1)	滑走路延長に賛同する意見	123
(2)	滑走路延長に否定的な意見	24
(3)	航空ネットワークの拡充に関する意見	81
4.	滑走路延長による効果に関する意見	49
(1)	国際化に関する意見	10
(2)	佐賀空港の将来像に関する意見	19
(3)	空港周辺地域への影響に関する意見	15
(4)	航空貨物機能強化に関する意見	4
(5)	防災機能強化に関する意見	2
5.	滑走路延長計画（施設計画の妥当性）に関する意見	100
(1)	施設整備に関する意見	59
(2)	事業費に関する意見	20
(3)	地域の発展に関する意見	21
6.	滑走路延長の影響に関する意見	52
(1)	航空機騒音に関する意見	21
(2)	自然環境に関する意見	22
(3)	航空機の安全性に関する意見	7
(4)	地元産業に関する意見	2
7.	その他意見	91
(1)	駐屯地、オスプレイに関する意見	39
(2)	空港アクセスに関する意見	32
(3)	近隣空港との関わりに関する意見	7
(4)	その他意見	13
合計		575

2.4.3. 寄せられた自由意見に対する対応

自由意見は、幅広い意見が寄せられました。その意見に対するP I 推進協議会としての考え方について、以下に整理しました。

表 2-13 寄せられた意見に対するP I 推進協議会の考え方

寄せられた意見	意見に対する考え方
1 P I 活動に関する意見 (28 件)	
<p>(1) P I レポートに関する意見 (23 件)</p> <p>①内容は分かりやすかった。 ②内容が分からなかった。 ③駐屯地整備も踏まえた整備計画は提示すべきではないか。 ④滑走路延長した場合の就航可能な航空機は何か。 ⑤滑走路延長に関する自治体の了承手続きは行うのか。 ⑥現状の収支計算表、平均搭乗率は何か。</p>	<p>①②ご意見を踏まえ、事業化に向けた取組を進める中で情報提供を行う際には、できるだけ多くの方にご理解いただけるよう努めていきます。 ③滑走路延長計画の目的は民間空港としてより安全性を高めるためのものであるため、本計画では別事業である駐屯地整備の内容を含んでいません。 ④東南アジア路線において中型ジェット機 (B767、B787 等) が就航可能になります。また、中型機だけでなく大型機(B777 等)も就航可能になります。 ⑤「佐賀空港建設に関する公害防止協定書」において、空港施設の増設をしようとするときは佐賀市、佐賀県有明海漁業協同組合及び佐賀県農業組合とあらかじめ協議することとしています。また、「佐賀空港における航空機の運航に伴う環境保全に係る合意書」において、滑走路を延長するときには柳川市と協議することとしています。 ⑥空港収支及び平均搭乗率については、九州佐賀国際空港のホームページで公開しています。 次のアドレスをご参照ください https://www.pref.saga.lg.jp/airport/list04565.html</p>
<p>(2) 説明会に関する意見 (5 件)</p> <p>①具体的な計画が示されておらず、理解できなかった。 ②自衛隊関係者も含めた説明会は開催しないのか。</p>	<p>①ご意見を踏まえ、事業化に向けた取組を進める中で情報提供を行う際には、できるだけ多くの方にご理解いただけるよう努めていきます。 ②防衛省事業である駐屯地整備は滑走路延長計画と別事業であることから、自衛隊関係者も含めた説明会の開催は予定しておりません。</p>
2 佐賀空港の概要に関する意見 (27 件)	
<p>(1) 佐賀空港の現状に関する意見 (17 件)</p> <p>①佐賀空港は距離が近く利用しやすいので便利である。 ②なぜ開港当初 2,500m で整備しなかったのか。 ③利用時間を延長してほしい。</p>	<p>①ご意見を踏まえ、今後の空港運営に活かしていきます。 ②当初、佐賀空港は滑走路 2,500mでの整備を計画していましたが、国との調整の中で滑走路 2,000mへの計画変更を行い平成 10 年 (1998 年) 7 月に開港しました。国際線が就航し海外の航空会社から滑走路延長の要望があったことから、より安全性を高めるために滑走路延長に向けて取り組んでいます。 ③現時点で利用時間外についての具体的な計画はありません。利用時間の延長を検討する場合は、関係者と情報共有を図りながら進めていきます。</p>
<p>駐車場に関する意見 (10 件)</p> <p>(2) ①無料駐車場を継続してほしい。 ②立体駐車場を整備してほしい。</p>	<p>①②ご意見を踏まえ、今後の空港運営に活かしていきます。</p>

寄せられた意見	意見に対する考え方
3 滑走路延長の必要性に関する意見 (228 件)	
<p>(1) 滑走路延長に賛同する意見 (123 件)</p> <p>①滑走路を延長してほしい。 ②滑走路を延長して観光客が増えてほしい。 ③便数を増やすために滑走路延長は必要である。 ④福岡空港の補完空港として必要である。</p>	<p>①②③④ ご意見を踏まえ、事業化に向けて取組を進めていきます。</p>
<p>(2) 滑走路延長に否定的な意見 (24 件)</p> <p>①滑走路延長の必要性が理解できない。 ②軍事利用の恐れがある延長ではないか。</p>	<p>①②海外では 2,500m 以上の滑走路が多く、佐賀空港に就航している海外の航空会社から、より安全性を高めるために、滑走路延長の早期実現に向けた要望が出されています。また、滑走路を延長することで、東南アジアとの直行便が就航できるようになり、九州の玄関口としての役割が高まります。佐賀空港の発展は、佐賀県や福岡県南西部の発展につながり、さらには国の目標である訪日外国人旅行者数 6,000 万人の実現にもつながります。</p>
<p>(3) 航空ネットワークの拡充に関する意見 (81 件)</p> <p>①便数が増えてほしい。 ②欧米やオセアニアなどの長距離路線を開設してほしい。 ③羽田路線以外の国内線も開設してほしい。 ④航空需要はどの程度見込めるか。</p>	<p>①②③ご意見を踏まえ、今後の空港運営に活かしていきます。 ④事業化に向けた取組を進める中で航空需要の精査を行っていきます。</p>
4 滑走路延長による効果に関する意見 (49 件)	
<p>(1) 国際化に関する意見 (10 件)</p> <p>①佐賀県の発展のためには国際化が必要である。</p>	<p>①ご意見を踏まえ、事業化に向けて取組を進めていきます。</p>
<p>(2) 佐賀空港の将来像に関する意見 (19 件)</p> <p>①佐賀空港がもっと発展してほしい。 ②滑走路以外の将来像が分からない。</p>	<p>①ご意見を踏まえ、今後の空港運営に活かしていきます。 ②佐賀空港の将来像は佐賀県のホームページで公開しています。次のアドレスをご参照ください (https://www.pref.saga.lg.jp/airport/xxxxxxxxxxxxx : 令和 6 年 2 月中旬に掲載予定)</p>
<p>(3) 空港周辺地域への影響に関する意見 (15 件)</p> <p>①空港周辺地域を充実させてほしい。 ②空港周辺地域への影響が懸念されるので、地元の意見を聞いてほしい。</p>	<p>①ご意見を踏まえ、今後の空港運営に活かしていきます。 ②環境影響評価の手続きの中で現地調査を行うとともに、説明会も開催していきます。 ※環境影響評価：開発事業の内容を決めるに当たって、それが環境にどのような影響を及ぼすかについて、事業者自らが調査、予測、評価を行い、その結果を公表して一般の方々、地方公共団体などから意見を聴き、それらを踏まえて環境保全の観点からよりよい事業計画を作り上げていこうという制度</p>

寄せられた意見	意見に対する考え方
<p>(4) 航空貨物機能強化に関する意見 (4件)</p> <p>①大型貨物便を再開するなど、航空貨物機能を強化するのは良い。</p> <p>②航空貨物の受け入れは難しい。</p>	<p>①②ご意見を踏まえ、今後の空港運営に活かしていきます。</p>
<p>(5) 防災機能強化に関する意見 (2件)</p> <p>①防災機能強化は重要である。</p> <p>②有事の際の防災拠点としても考えているのか。</p>	<p>①ご意見を踏まえ、今後の空港運営に活かしていきます。</p> <p>②大規模災害が発生した際の防災拠点としての機能も想定しており、滑走路を延長することで、より大きな航空機で大量の物資等を輸送することができるようになり、佐賀空港の防災拠点としての機能が強化されます。</p>
<p>5 滑走路延長計画（施設計画の妥当性）に関する意見（100件）</p>	
<p>(1) 施設整備に関する意見 (59件)</p> <p>①滑走路長は2,500m以上に延長すべきである。</p> <p>②平行滑走路の整備は考えていないのか。</p> <p>③平行誘導路の整備も必要ではないか。</p> <p>④エプロンやターミナルビルの拡張も必要ではないか。</p> <p>⑤ILS*を滑走路の両側に設置することは考えていないか。</p> <p>⑥工事の際に運航への影響はないか。</p> <p>※ ILS：着陸する航空機に対して、滑走路への進入コースを指示する無線着陸援助装置</p>	<p>①ご意見を踏まえ、事業化に向けた取組を進めていきます。</p> <p>②③今後、将来の見込みを立てていくこととしており、その内容も踏まえて検討していきます。</p> <p>④佐賀空港の ILS については国が管理しています。過去には現行の東側 ILS に加え、西側 ILS の設置について国へ提案しました。この提案に対して国からは、陸地での航空機の音が小さくなるよう、RNAV 航法を用いて有明海側から進入する経路が新たに設定されました。</p> <p>⑥運航への影響が無いように十分に配慮をして計画を進めていきます。</p>
<p>(2) 事業費に関する意見 (20件)</p> <p>①税金の無駄遣いにならないか。</p> <p>②事業費の内訳、費用対効果や採算性を示してほしい。</p> <p>③事業費には、漁業への補償費も含まれているのか。</p>	<p>①②概算事業費は約120億円と試算しており、今後、必要性や事業効果について精査していきます。</p> <p>③事業費には、漁業への補償費は含まれていません。</p>
<p>(3) 地域の発展に関する意見 (21件)</p> <p>①佐賀県の地域経済の発展が期待できる。</p> <p>②海外の観光客が増えてほしい。</p>	<p>①②ご意見を踏まえ、事業化に向けて取組を進めていきます。</p>
<p>6 滑走路延長の影響に関する意見 (52件)</p>	
<p>(1) 航空機騒音に関する意見 (21件)</p> <p>①騒音影響は心配していない。</p> <p>②騒音影響が大きくなるか心配である。</p> <p>③騒音影響範囲を提示すべき。</p> <p>④夜間に発着することはあるのか。</p>	<p>①②③環境影響評価の手続きの中で現地調査を行うとともに、説明会を開催していきます。</p> <p>④夜間の発着については、現在の利用時間は24時までとなっており、現在の最終便は21時30分到着となっております。利用時間の延長を検討する場合は、関係者と情報共有を図りながら進めていきます。</p>
<p>(2) 自然環境に関する意見 (22件)</p> <p>①自然環境への影響が懸念される。</p> <p>②自然環境に配慮した施策を実施してほしい。</p> <p>③環境影響評価を適切に実施し、環境に配慮してほしい。</p>	<p>①②③環境影響評価の手続きの中で現地調査を行い、説明会を開催していきます。</p>

寄せられた意見	意見に対する考え方
<p>(3) 航空機の安全性に関する意見（7件）</p> <p>①便数が増えるため、航空機事故などの危険性が増さないか。</p> <p>②滑走路延長に加えて、安全性を高める検討をしてほしい。</p> <p>③滑走路端安全区域は標準の240mで整備しないのか。</p>	<p>①②国や航空会社等の関係者と連携し、安全性の向上に努めていきます。</p> <p>③滑走路端安全区域については国内基準に基づき90m以上で整備することとしています。</p>
<p>(4) 地元産業に関する意見（2件）</p> <p>①海苔の養殖に影響しないか。</p>	<p>①環境影響評価の手続きの中で必要があれば海苔の養殖等の環境への影響を調査、評価していきます。</p>
<p>7 その他意見（91件）</p>	
<p>(1) 駐屯地、オスプレイに関する意見（39件）</p> <p>①軍事目的の滑走路延長ではないか。</p> <p>②駐屯地整備やオスプレイの飛行は中止してほしい。</p>	<p>①滑走路延長は佐賀空港の安全性をより高めるために実施するものであり、海外の航空会社から要望を受け取り組んでいるものです</p> <p>②駐屯地整備やオスプレイの飛行中止についての意見は防衛省の担当窓口に伝達いたします。</p>
<p>(2) 空港アクセスに関する意見（32件）</p> <p>①道路、鉄道などの空港アクセスの改善が重要である。</p>	<p>①ご意見を踏まえ、今後の空港運営に活かしていきます。</p>
<p>(3) 近隣空港との関わりに関する意見（7件）</p> <p>①福岡空港の代替空港として滑走路延長が必要である。</p>	<p>①佐賀空港は利用時間が24時までとなっており、利用時間が22時までで混雑空港に指定されている福岡空港での対応が難しい便の受け入れが可能だと考えています。また、防災拠点として近隣空港が被災した場合の代替機能を果たすことができます。北部九州の中心に位置することから九州の玄関口として更に九州全体の観光客の増加に寄与することを目指しています。</p>
<p>(4) その他意見（13件）</p>	

3. P I の目標達成の判断

3.1. 判断方法

以下のP I 活動の実施目標について、目標達成の判断を行いました。

【P I 活動の実施目標】

- みなさんが佐賀空港滑走路延長の必要性や施設計画の妥当性に関する説明を理解し、不明点や疑問点が解消されること
- みなさんの意見を把握することで、事業主体である佐賀県が事業を円滑に実施できる状態になること

3.2. 判断内容

3.2.1. みなさんに滑走路延長計画の内容について理解いただけたか

滑走路延長の必要性、滑走路延長による効果、施設計画の妥当性、滑走路延長による影響について、「理解できた」、「ある程度理解できた」と回答した方は 90.3%~92.9%、「あまり理解できなかった」、「理解できなかった」と回答した方は 7.1%~9.7%を占めました。

以上より、みなさんに滑走路延長計画の内容について理解いただけたと判断しました。

表 3-1 滑走路延長に関する理解度

	理解できた +ある程度理解できた	あまり理解できなかった +理解できなかった
滑走路延長の必要性	92.9%	7.1%
滑走路延長による効果	92.1%	7.9%
施設計画の妥当性	91.2%	8.8%
滑走路延長による影響	90.3%	9.7%

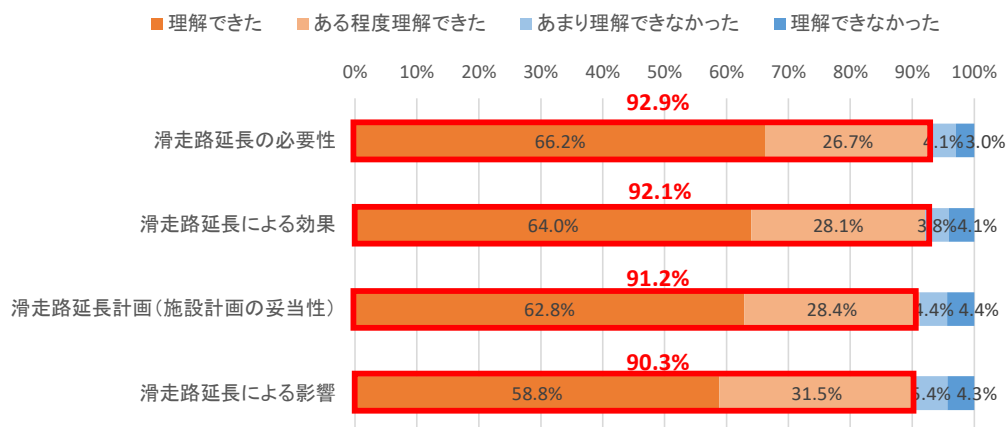


図 3-1 滑走路延長に関する理解度

3.2.2. みなさんの意見を把握することができたか

P I実施計画書に基づきP I活動を行った結果、合計 436 件の自由意見（全体の 33%）をいただきました。いただいた自由意見をP Iレポートで情報提供した7つの内容別に整理し、さらに内容を分類・集約した結果、自由意見は合計575件になりました（表 2-12（P28）を参照）。

以上より、みなさんの意見を把握することができたと判断しました。

3.3. 判断結果

上記の判断内容より、「P I活動の実施目標」を満たしており、「佐賀県が事業を円滑に実施できる状態である」と判断しました。

4. P Iの終了について

第3回P I評価委員会における評価・助言を受けて、第3回協議会において、P I推進協議会はP Iの目標を達成したと判断し、本書（P I実施報告書）の公表をもってP Iを終了しました。

P Iを通じて寄せられた意見については、今後の佐賀空港の更なる発展に向けた検討や適切な管理・運営に活かしてまいります。